記　者　発　表

令和元年　９月　１１日
国　土　交　通　省
東 北 技 術 事 務 所

応急組立橋の架設点検を実施します

～災害時の輸送経路確保のために～

東北技術事務所では、Ｈ２０岩手宮城内陸地震、Ｈ２３東日本大震災等で活躍した応急組立橋について、架設点検を実施します。

「応急組立橋」は、地震および洪水等により被災した道路や橋梁に代わり、現地で短期間に組立出来る仮設橋で、緊急車両や災害対策車等の輸送路を確保する重要な役割を担っています。（別紙－１）

架設点検は、応急組立橋の出動に備え、組立時に不具合が無いか確認を行うものです。

１．日　　時：令和元年９月１８日（水）１３:３０～１４：３０

※架設作業は９月１７日～１８日の２日間で実施しますが、上記時間においてクレーンを使用した主構の一括架設を予定しております。

２．場　　所：東北技術事務所構内（別紙－２）

※見学を希望される方はヘルメットを準備しますので、問い合わせ先まで連絡をお願いします。
なお、雨天や強風等の影響により作業を中止することがあります。

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北技術事務所
住　所：多賀城市桜木三丁目６－１
ＴＥＬ：０２２－３６５－８１５８（代表）
副所長（機械）　布宮（ぬのみや）　明道（あけみち）
防災・技術課長　石川（いしかわ）　功（いさお）

別紙－１

１．応急組立橋について

東日本大震災のような大規模災害が発生した場合、落橋あるいは、津波による橋や道路の流出等により交通が寸断され、被災地のライフラインが途絶えた場合において緊急の輸送路を確保するため、応急組立橋の役割は非常に大きいものがあります。

２．　災害時の架設状況（H20 岩手宮城内陸地震 岩手県奥州市胆沢区若柳地内）



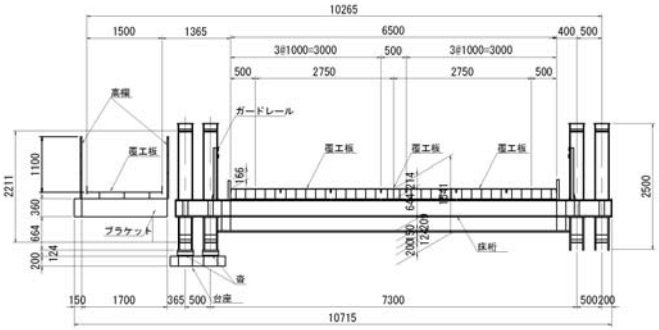
写真－①



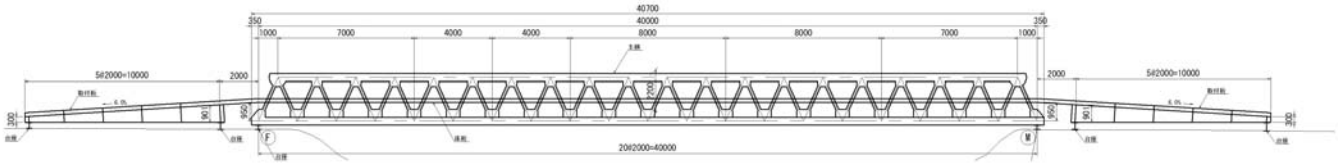
写真－②



写真－③



一般図（断面図）



一般図（側面図）

３．応急組立橋の特徴

①型　　式：組立式ポニーワーレントラス橋

②橋　　長：１６～４０ｍまで４ｍ毎

③幅員構成：６．５ｍ（車道２車線）＋１．５ｍ（歩道）

④設計加重：Ｂ活荷重

⑤導入年度：平成５年度



写真－④　組立状況

別紙－２

交通アクセス

・ＪＲ仙石線の多賀城駅から徒歩２０分、車で１０分

・バスは宮城交通七ヶ浜方面乗車、桜木三丁目下車徒歩３分。

